



生か死か

ビーバーは木を切り倒し、ダムを造り、木々を水に沈めることで、健康で多様な生態系を育てています。

木の根がビーバーが作った池に沈められても、立っている枯木は生命に満ちあふれています。目に見えないバクテリア、菌類、昆虫や鳥、小型のほ乳類といったたくさんの生き物たちに、食べ物やかくれ場所、住みかを提供しているのです。

ビーバーがアスペン、ポプラ、ヤナギといった木々を切り倒しても、木々ははまだ生きています。これらの木々の根系は影響を受けず、こうしたビーバー活動に反応して新しい芽が芽吹きます。いろいろな高さの樹木や樹齢で構成された森はより健康的で、こうして更新された森は様々な環境を作り出し、ビーバーだけでなく、多くの野生動物に利用されます。

やってみよう！

立ち枯れしている木々に穴がないか探してみましよう。鳥、動物、虫など、何がどのようにその穴を使っているのか考えてみましよう。

訳：上池久美子

画像提供：ローズ・ラトリフ



Provincial Park Society